



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

第12号

発行日 平成22年6月30日

〒960-1295 福島市光が丘1番地/TEL (024) 547-1111(代) ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

病院長就任あいさつ — 大学附属病院の使命 —



病院長 村川 雅洋

平成22年4月1日付で、附属病院長を拝命しましたので、ごあいさつ申し上げます。

当院は法人化後の4年、菊地、竹之下病院長のもと「高度先進医療の充実と健全経営」を図ってまいりました。この間、県民の皆様からの多大なるバックアップのお陰もあって、「臓器別診療体制への再編」、「救命救急センターならびにドクターヘリの設置」、「7対1看護体制の実施」、「新医療情報システムの構築」など、県を代表する病院に相応しく生ま

れ変わりつつあります。

引き続き、本院の理念である「健康を支える医療・心温まる医療」の実現に向けて、「かかりつけ医との地域連携の強化」、「固定チームナーシングなどの看護体制の充実」、「栄養部門の改革」、「更なる経営の効率化」など山積する課題の解決に努力いたします。

また、大学附属病院として最も重要な使命の一つである「医療人の育成」に重点的に取り組めます。県からのご支援を受けて医学部入学定員の増加などに取り組んでおりますが、未だ県内の医師不足には好転の兆しが見えません。本院は県内唯一の大学附属病院であり、学生、研修医をはじめ多くの医療人を育成しております。患者さんには、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

患者さん、地域にお住まいの方々へ — 歯科口腔外科の診療内容について —

歯科口腔外科部長 長谷川 博

通常の歯科が歯の治療を行うのに対し、「歯科口腔外科」では、口腔（口の中）や顎骨（あご）の治療を専門に行っています。一番身近でわかりやすいものが、智歯歯周炎（親知

らず周囲の炎症）の際の抜歯などでしょう。

ほかにも口唇口蓋裂などの先天疾患、顎骨内や周囲組織にできた嚢（のう）胞、舌がんや歯肉がんなどの口腔腫瘍（しゅよう）、顎骨骨折などの顎顔面の外傷、下顎前突症（受け口）などの顎変形症、顎関節症など顎関節の疾患の治療が当てはまります。また、いびき・睡眠時無呼吸症候群の治療として口腔内装置（マウスピースを応用したもの）を装着する場合があります。

最近では、歯を失った部位に人工歯根を埋め込み、人工の歯を作るインプラント治療や、さらに失った顎骨を再生する方法も積極的に行っています。特に、顎骨に異常があり、通常の入歯が装着できない患者さんに対するインプラント義歯は、当院の高度先進医療の一つとして、平成7年より承認されております。

福島県内では、当科をはじめ「歯科口腔外科」を標榜している病院歯科が数ヶ所にあります。受診する際には、まずは、かかりつけの歯科医院に相談し、状況をみながら紹介していただくといいと思います。

第12号のなかみ

- 2ページ… ○リレー・フォー・ライフ (RFL) 2010in福島
○病院2階
○外来診療科の改修・移転工事について
○病気のみめ知識「紫外線との上手な付き合い方」
- 3ページ… ○はじめまして！新規採用になりました
○「きいてください 院長さん」投書箱から
- 4ページ… ○栄養士からアドバイス 食中毒を防ぐための三大原則
○こんにちは。富士通です。
○病院ボランティア「けやきの会」りれー通信10

清潔と快適をクリエイトする。



病衣・付添寝具

〔ご利用・お問合わせ先〕

株式会社 同仁社
医大リネン室

電話 024-547-1111
内線 3081

マチのほっとステーション LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(福利厚生棟内)

6階西病棟 看護師長 渋木 登美代

2010年9月4日(土)13:00～5日(日)12:30 福島県立医科大学陸上競技場を中心とした場所でRFLが開催されます。

RFLは、1985年に米国の医師が始めたがん患者さんのためのチャリティ・ウォークラリーです。以来、様々な人々から共感を得て、世界20か所以上の国で開催されています。日本では、2006年に「つくば」から始まり、各県で開催されるようになりました。「福島県でもぜひこのイベントを実現したい」という声が患者会や医療者を中心にあがりました。2009年に実行委員会を立ち上げ、準備をすすめています。「福

島らしさをどのように表現したらよいのか。」ということを検討し、「がんを生きる がん患者も家族も、そうでない人も人間らしく、その人らしく地域で生きる」というテーマのもとで活動を行っています。現在、寄付や協賛金をいただくために企業、団体、個人の方を訪問しています。さらに、会場準備のための手続きや物品調達などに奔走しています。大規模な催しであるため、実行委員として不安も感じますが、イベントの主旨に賛同してくださる方々の励ましに支えられながら頑張っています。

9月4日、5日は、皆様、福島県立医科大学陸上競技場にぜひお集まりください。実行委員を代表して、お願いいたします。

病院2階 外来診療科の改修・移転工事について

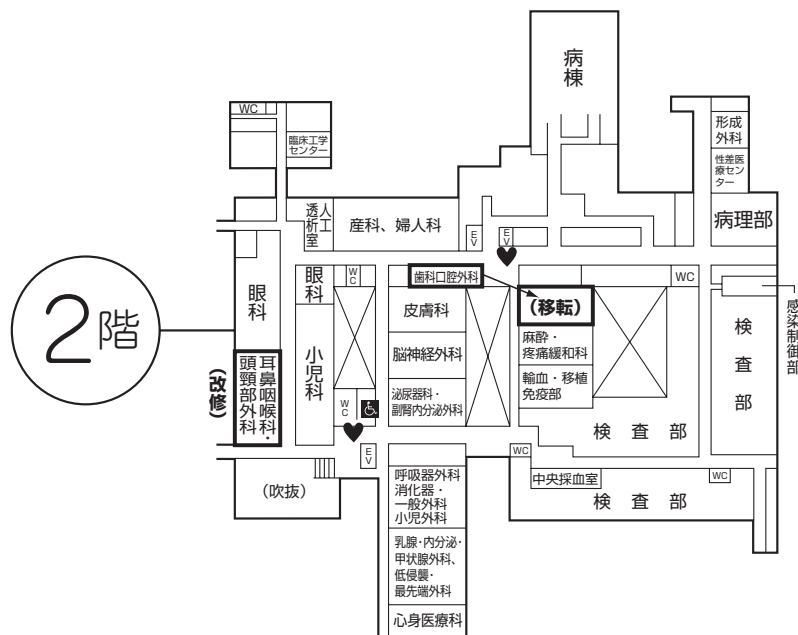
◆耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来 改修工事

今回の工事では、南側の各診察室に間仕切りを設置するとともに、車椅子にも対応した診察室を設けることで、受診環境の改善を図ります。現在の診察室を一部閉鎖しながらの内部改修で現在工事を実施しています。このため工事期間中は診療スペースを制限することとなり、患者さんにはご不便をおかけいたしますが、8月中旬には、工事が完了する予定です。

◆歯科口腔外科外来 移転工事

各診察室を広くし、間仕切りを設けることで、受診環境の改善を図ります。新しい診察室は、現在の場所から廊下を挟んだ東側に移転整備いたします。工事期間中の診察は、今の場所で行います。8月上旬には、工事が完了いたします。

工事期間中は、来院される皆様には、ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をおねがいいたします。



病気のまめ知識

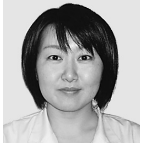
「紫外線との上手な付き合い方」

皮膚科 三浦 貴子

近年、紫外線は浴びすぎると良くないということがよく知られるようになりました。紫外線はいわゆる「日焼け」以外に、光老化(皮膚のしみやしわ)さらには皮膚の発がん性と密接な関係にあります。健康な皮膚を保つため正しく紫外線と付き合いましょう。紫外線量は4月～9月にかけて最も多く、1日で最も紫外線量が多いのは午前10時～午後2時までの間ですので、この時間帯の外出を避けるのも紫外線対策の一つです。また曇りの日でも60～80%程度の紫外線はあるため「曇りだから大丈夫」とい

う油断は禁物です。具体的な対策は、UVウエアを着る、帽子をかぶる、サンスクリーン剤(日焼け止め)を塗ることです。サンスクリーン剤はシーン別を選び、日常生活や屋外での軽い運動の場合SPF値は10～30で十分ですが、落ちてしまっは意味がありませんので2・3時間置きに塗り直すことが大切です。また紫外線吸収剤はアレルギーを起こす場合があるので、子供さんや肌の敏感な方はこれが無配合のものあるいはノンケミカルと表示されるものを選びましょう。もし日光を浴びすぎってしまったら、たんぱく質とビタミンBを多く含む牛肉やレバーなどの食品やビタミンB₂やビタミンC類を摂取するのも有効です。

はじめまして! 新規採用になりました ★今年の新規採用者のうち6名に抱負を聞きました



心身医療科 **安藤 海香**

皆様こんにちは、安藤海香と申します。福島が大好きです。4月から、心身医療の分野では世界的に有名な憧れの丹羽真一先生の心身医療科に入り、日々指導いただいております。心身一如、和顔愛語、善医養気を座右の銘に、患者さんが、病院に来た時よりも帰るときには明るく笑顔になって帰れるように、患者さんの心も身体も癒すことのできる医師になれるよう、ますます精進してまいります。皆様のご指導をどうぞ宜しくお願い致します。



医療連携・相談室 **國分 亜紀子**

こんにちは。医療連携・相談室の國分亜紀子と申します。

医療連携・相談室は病院の1階、お薬渡し口の裏手にあります。ピンクのドアが目印です。その名のとおり、医療費に関することや医療制度に関することなどのご相談に対応させていただきます。私は精神保健福祉士で、中でも心身医療科に関するご相談を専門にさせていただきます。何かご不明な点などございましたらお気軽にピンクのドアをノックしてください。



放射線部 **長澤 陽介**

医大で働き始めて2ヶ月余りが経ちました。日々学ぶべきことばかりで、実のある時間を過ごせることを嬉しく感じると同時に、まだまだ勉強が足りない自分の未熟さを痛感する毎日です。先輩方の熱心なご指導の下、日々、患者さんと接していく中で少しでも多くのことを学びとり、一日でも早く一人前の放射線技師になれるよう精進していきたく思います。どうぞ宜しくお願い致します。



リハビリテーションセンター **安田 大輔**

本年度、福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンターに、理学療法士として採用されました安田大輔と申します。

私は宮城県仙台市出身で、今回初めて福島県に来ました。新しい土地、そして初めての社会人となり、不慣れなことばかりですが諸先生方のご指導の下、日々精進しております。

リハビリテーションセンターの理学療法士として、使命を果たせるよう質の向上を目指し、患者さんが満足できる医療を提供したいと考えています。



検査部 **丹野 大樹**

東北大学での6年間の学生生活を終え、4月から臨床検査技師として当院検査部血液検査室で働いています。かねてより大学卒業後は地元福島のために力を尽くしていきたいと考えておりましたので、当院で働ける喜びを噛み締めながら日々仕事に励んでいます。検査技師の提供する検査データは、ときに医師の診断を大きく左右するほど重要であるため、迅速性と正確さ、そして客観的にデータを視る力が要求されます。今はまだその全てを完璧にこなしているとはいえませんが、いずれは先輩方のように信頼の持てる検査ができるよう精一杯頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。



看護部 手術室 **遠藤 博志**

4月1日から福島医科大学病院の手術部で働かせていただくことになりました。私は3月まで、他の病院で5年間勤務していました。福島県の医療の中核であるこの病院で働いてみたいと思い就職しました。

今年の4月に長女が誕生し仕事と育児と驚きの毎日であつという間に2ヶ月がたつてしまいました。

手術部での看護は患者さんの手術を安全に、少しでも緊張や不安をとり、手術を迎えられるようにお手伝いをさせていただくところです。あまり表にできることはない場所ですが病院になくはならない重要な部署です。

毎日多くの手術があり、日々勉強の毎日ですが仕事と育児と一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

「きいてください 院長さん」 投書箱から



最近の投書では、おもいやり駐車場についてのご意見が多く寄せられております。

当病院には2種類のおもいやり駐車場があります。それぞれ利用の方法が違いますので説明をしたいと思います。

まず、病院正面にある「おもいやり駐車場」ですが、ここは福島県が実施している「おもいやり駐車場制度」に基づいて利用していただく駐車場です。7台分設置してあります。

このスペースを利用するためには福島県が発行する「利用証」が必要になります。ここに駐車する場合は必ず、福島県が発行する「利用証」の掲示をお願いいたします。



利用証の交付は福島県（各保健福祉事務所等）、各市町村、(財)福島県身体障がい者福祉協会に申請することになります。詳しくは福島県高齢福祉課（電話024-521-7197）までお問い合わせをお願いします。

次に、一般外来駐車場のとなりにゲートのある「おもいやり駐車場」が64台分あります。このスペースはご自分で運転して来院される体の不自由な患者さんを対象としています。利用するためには、病院の守衛室に申請し、「思いやりカード」の発行を受けてください。

詳しくは、守衛室又は総務課管財係までお問い合わせをお願いします。

思いやり駐車場のスペースをこれ以上に増やすことは、現状ではかなり難しい状況にあります。当病院としても適正な利用ができるよう管理を強化しておりますが、患者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

栄養士からアドバイス — 食中毒を防ぐための三大原則 —

今年は暑い日と寒い日が極端で、体調を崩しがちです。梅雨のこの時期は、もともとは湿度が高く黴（カビ）が生えやすいことから「黴雨（ばいう）」とも呼ばれていたそうです。この季節は、食中毒の菌も増えやすいので、特に食べ物に注意が必要です。今回は、食中毒を防ぐための三大原則をご紹介します。

1. 菌を付けない

台所に、食中毒の原因となる菌を持ち込まないことが重要です。新鮮な食材を利用する、十分に手洗いで付いた菌を食材につけないなどの注意が必要です。

2. 菌を増やさない

菌は、栄養と温度と水分があれば増えてしまいます。冷蔵庫で食材をよく冷やして保存したり、調理器具を保管する際にはよく乾燥させる必要があります。また、菌を増やさないためには調理を中断しないことも大切です。

3. 菌を殺す

食べ物に付いた菌は、75度以上で1分以上加熱して殺すことが大切です。調理の際には、食材の中までよく火を通すようにしましょう。火が通りにくい食品は、弱火で長時間加熱したり、電子レンジで下調理してから加熱すると効果的です。



こんにちは。富士通 です



私達は開発室という場所で総合医療情報システムの安定稼働の為に運用維持管理業務を行っています。

総合医療情報システムは、電子カルテ・医事会計・放射線や検査・薬剤

管理など、院内の診療や会計に関する情報のやりとりを総合的に管理しています。

例えば、患者さんが来院されて受付されると予約状況や保険情報等が担当診療科へ送信され、診察後に検査があれば各検査担当部門へ検査に必要な情報を送信し、診察終了となれば会計窓口と薬剤部門にその日の診察内容が送信されて会計とお薬の準備が整います。会計が終わりましたら、処方された薬を受け取っていただいで終了します。

このように、総合医療情報システムは、実際の場所は離れていても、院内のネットワーク通信による迅速・正確な情報のやり取りを行うことにより、待ち時間を軽減し、患者さんや先生方などの負担を少しでも減らすことを目的としています。

私達が皆様の前に出ることは少ないですが、患者さん・先生方・看護師さんなど、皆様の利便性向上の為に頑張っています。

今後もシステムの安定稼働・改善に注力し、少しでも皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、何卒宜しくお願い致します。

病院ボランティア「けやきの会」 りれー通信 10

「笑顔と元気をくれたボランティア」 鈴木 恵美

病院ボランティアをインターネットで見つけ、入会してから7年になります。病気で亡くした子へ出来ることはないかと始めたのがきっかけです。

玄関に立ち笑顔を作れず口元だけを上げたり、色眼鏡をかけたり苦戦したときもありました。今まで続けることが出来たのは良き先輩方、職員の方、「鈴木さん来てくれたんですか、とても助かります。」と言ってくれたkさん、患者さんからいただいた感謝の言葉が、私に活動しやすい時間と場所を与えてくれたからです。



ある時は患者さんのつらい体験話を聴き、私も頑張らなくてはと思うことが度々ありました。先輩方一人ひとりの好い所を真似し、自分が通院する際に感じたことを基にボランティアに活かしています。

入り口に居ますと夫婦愛、親子愛、家族愛等々見せていただいています。これからも色々な方との出会いが有ると思いますが、互いに支え支えられながら元気にボランティアを続けて行きたいと思っています。



こころときめいて、くらしかがやいて。

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは 福島医大病院支店

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間：平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。

高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

